

2 月度木曜例会 (2009/02/05)

ちょうど1年前の2008年2月13日、オーストラリアの首相 Kevin Rudd が Indigenous Australians に対して謝罪しましたね。本日のゲストスピーカー Norman さんは昨年3月の土曜例会にも来ていただきました。その時のタイトルがタイミング良く “Saying Sorry to the Stolen Generations – Is this enough for Australian Aborigines?”

『失われた世代への謝罪 – 先住民族アボリジニにとって十分だろうか?』でした。そして本日のタイトルはその続編 “Avoidable Blindness in the 21st century- The

Fred Hollows Foundation and its work with Australian aborigines”です。2部に分かれ前半は look back とその後の状況、後半は The future is in the hands of us all という点の中からから特に Fred Hollows Foundation について話されました。

ところで皆さん Aboriginal people ってどの地方にどれくらいいて今どんな生活ぶりなの? Stolen Generation とは何? なぜ首相が謝り、皆が泣いて喜んだの? とところでその大元は何だったの? でもこれからは本当に change するの? というような素朴な疑問が彼のスピーチ前に起こりませんでしたか。

本論に入る前に Norman さんについて

He is a retired Queensland government officer and is now an English Language tutor to migrants and refugees who now live in Brisbane Australia. He worked for over 40 years, through both private and public sectors, in civil engineering, transport planning and policy development. He has traveled widely in Australia and internationally and this will be sixth visit to Japan since 1991.



1) Northern territory

オーストラリアの人口約 21 万人、その 25% 約 5.2 万人がアボリジニです。でも Northern territory は面積が日本の 4 倍近くあるのに人口はわずか 22 万人、その内約 3 割がアボリジニで他に比べ割合が非常に高い、そしてその生活条件は仕事、教育、健康その他色々な面で貧しい、観光業、鉱山労働程度しか仕事を得られない、いわゆる racial discrimination です。ましてや地域が広すぎる、とのこと。アルコール依存、暴力、また犯罪に繋がります。

余談ですが Ayers Rock/ Uluru, the world's largest monolith and an Aboriginal sacred site is Australia's most famous natural landmark.は South Australia に近いこの地にあります。すばら

しい自然を維持する為に to remove all accommodation-related tourist facilities 観光業者を規制する法令が定められています。



2) Stolen generation

His words, contained in an Australian parliamentary motion, were directed to the "stolen generations" - the tens of thousands of mixed-race children taken from their families in a strategy of white assimilation only abandoned in 1970.

But he also said sorry to all of Australia's indigenous people who still live on the margins of society, saying that in the future he wanted them to have the same opportunities as other Australians.

"For the pain, suffering and hurt of these stolen generations, their descendants and for their families left behind, we say sorry, To the mothers and the fathers, the brothers and the sisters, for the breaking up of families and communities, we say sorry. And for the indignity and degradation thus inflicted on a proud people and a proud culture, we say sorry."

3) Why?

Why was it necessary to remove many children from their parents and try to turn them into white people?

White people have never been able to leave Aborigines alone. Children particularly have suffered. Missionaries, teachers, government officers have believed that the best way to make black people behave like white people was to get hold of the children who had not yet learned Aboriginal lifeways. They thought that children's mind were like a kind of blackboard on which the European secrets could be written.

4) The future

ここで本日のタイトルが登場します。政府レベル民間レベルで各種の取り組みが行われていますがその中のひとつ Fred Hollows の盲目撲滅について詳細な説明がありました。後半の第二部は様々な原因で起きている cataract 白内障により光を失った人々を救済した Fred Hollows (N.Z. 生まれ、オーストラリアで開業) という眼科の医師の物語です。世界には盲目の人々が3700万人いる、白内障が盲目の原因の48%を占める、そのうちの75%の人たちは治療により見えるようになる、そうです。そしてその90%は発展途上国に住んでいます。彼は LOL というレンズを開発し、製造コストの安いエリトリア、ネパールに工場を作りました。治療を進めていく過程で Fred Hollows 財団を立ち上げます。今や世界20カ国に活動拠点が設立され、手術の訓練もそれぞれの拠点で行われ2007年度には約15万人の人々が救われました。

Fred は活動のさなかに自分自身が末期がんに侵されていることに気づきますが、それにもかか

わらず救済活動を継続し1993年に64歳で生涯を終えることになりました。

彼の活動が世界活動にまで発展するきっかけとなったのは、白内障のまま放置されているアボリジニを盲目から開放し光を取り戻すことからでした。ここで第1部との関連が出てくるのです。アボリジニの中には都会に住み経済的に豊かに暮らしている人もいれば、都会に出ることを拒み、自分たちの価値観を大切にしている人たちもいます。豊かさから取り残された方たちの中には白内障により盲目のまま放置されている人も沢山いました。

ここでエピソードをひとつ。

Fredが救った人々の一人に**Snowy MacDonald**というアボリジニの一つの族の長を勤める有能な牧童がいました。彼は白内障により盲目となってしまい牧童の仕事は出来ず、従来通り若手の指導も出来なくなり、族長といっても名ばかりの状態でした。でも**Fred**により**Snowy**は光を取り戻し、仕事を取り戻し、若者を元通り指導し、族長としての尊厳を取り戻したのです。

注) 発展途上国では、加齢というまでも無く強い紫外線や遺伝による白内障があり治療も充分ではないそうです。日本の場合は、我われが身近なのは加齢によるものではないでしょうか。

白内障の体験コーナーもありました。

www.hollows.org.au をのぞいてみて下さい。

